

基本目標 3 安全・安心な生活を送ることができる「環境づくり」

基本施策

- 3-1 地域の見守り体制の強化
- 3-2 地域ぐるみの防災・防犯体制の強化
- 3-3 気軽に外出できるまちづくり
- 3-4 ユニバーサルデザインのまちづくり



市民

- 市民一人一人が、地域の人と積極的に挨拶を行ったり地域の行事等に参加するなど地域交流に努めるとともに、近所づきあいを大切にします。
- 日常生活で困っている子ども、高齢者、障害者を発見したら支援します。
- 「防災マップ」などを通じて、家庭での事故防止や災害時の連絡体制、避難場所、避難方法を把握します。

地域

- 自治会・地域住民・ボランティアなど近隣の人々が、日常の生活や健康状態、非常時の対応が心配な要援護者に対して、見守り・支援活動を行う「小地域福祉ネットワーク」を推進します。
- 地域住民に、防災意識の高揚と助け合いの精神を浸透させる地区防災事業を進めます。
- 災害時等避難行動要支援者の支援をするため、個別プランの作成や避難を誘導する等の役目を担う自主防災組織を結成します。

社協

- 買い物支援の組織づくりに積極的に関わります。
- 関係団体との連携を図り、高齢者や子どもの見守り活動を支援します。

行政

- ユニバーサルデザインに留意し、公共施設・設備を計画的に整備します。
- 防災に役立つ情報や知識、避難所の位置、地震や水害の際の危険箇所を掲載している「防災マップ」の周知に努めます。

関係機関との連携

本計画の推進に当たり、市民や民生委員児童委員、地区まちづくり協議会、自治会、ボランティアなど関係団体との連携強化を図り、計画の推進につなげます。



井原市地域福祉計画・地域福祉活動計画 【概要版】

発行

井原市 電話 (0866) 62-9516
井原市社会福祉協議会 電話 (0866) 62-1484

井原市

地域福祉計画・地域福祉活動計画

【概要版】

基本理念

地域で支え合う
～あたたかいまち 井原～



誰もが自分の住む地域で安心して暮らしていくためには、その地域の人々の支援が欠かせなくなっており、身の周りの地域の問題や課題を自分のこととしてとらえ、住民と地域、社会福祉協議会、行政が地域でともし取り組むための仕組みづくりが必要とされます。

その仕組みを作るための計画書が「井原市地域福祉計画・井原市地域福祉活動計画」です。

井原市・井原市社会福祉協議会